

カラス被害を受けないために

カラスってどんな鳥？

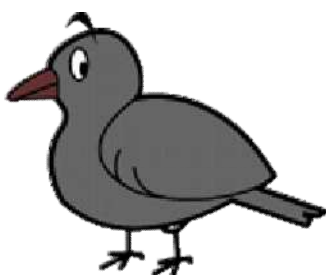
《カラスの特徴》

町には、ハシブトガラスとハシボソガラスがいます。ハシブトガラスは、少し大きくて、オデコが出っぱって、くちばしが太く、澄んだ声で「カアカア」と鳴きます。ハシボソガラスは、オデコが低く、くちばしは細くて、濁った声で「ガアガア」と鳴きます。

この2種類は習性や鳴き声がほとんど同じなので、以下では単に「カラス」と表記します。



ハシブトガラス



ハシボソガラス

《カラスの習性》

どちらも大変賢くて用心深い鳥です。雑食性で、人が食べるものはなんでも食べます。小動物を捕まえて食べたりもします。4～6月に大きな木の横枝に巣を作って3～4羽のヒナを育てます。秋から冬には、郊外の林や藪に集団でねぐらを作ります。

こんな苦情よくあります！



生ごみの袋を破って食べ散らかす。



鳴き声がうるさい。気持ちが悪い。



巣の近くを通る人(特に高齢者や子供)を攻撃することがある。

被害を受けないために！

生ごみは決まった場所に、決まった時間に出してください。

カラスは大変早起きです。

前日からのごみ出しは、**カラスの恰好の朝食**となります。

巣がある木には近づかないようにしましょう。迂回できない場合は、素知らぬふうにして素早く通り過ぎましょう。

あまりひどいときは、**帽子をかぶるか、傘をさしてください。**

攻撃の方法は、後ろから、近くまで飛んできてすぐ身をひるがえす「おどし飛行」だけで、突っつくようなことは、**まずありません。**

カラスも人が怖いのです。攻撃行動は、子どもを守るための必死の行動です。人が棒などで攻撃すると、いっそう強く応戦します。

カラスの幼鳥が落ちている。

カラスは飛ぶ練習をしているだけです。けがをしているわけではありません。親鳥も見守っているので、そのままにしてあげてください。

許可なく、野鳥を捕獲することは、法律により禁止されています。

迷惑だからといって、捕まえたり、卵やヒナを捕ってはいけません。

どうしても、被害の軽減が図れない場合は、動物愛護相談室（06 - 6978 - 7710）に有害鳥獣の捕獲許可について御相談ください。

ただし、捕獲許可申請については、その土地の所有者か管理者あるいは依頼を受けた業者が行い、申請者が捕獲することになります。